



玉城 勇 議員

河川の整備は コンクリート施工を

答 住民意見を取り入れ柔軟に対応する

問 国場川の整備で、河川の景観を良くするため川底に大きな石を配置している。水の流れを楽しめるようにしているが、雑草が繁茂して景観を損ねている。今後の河川整備は、川底をコンクリートにするのと雑草が生えないように変更できないか。

まちづくり振興課長 県の担当者から基本的に河川の川底をコンクリートにすることはできないと聞いている。当間橋の右岸側に関しては、住民から石張りの護岸整備の要望があり、県は変更の検討をしている。柔軟に対応しているので、調整していきたい。

問 河川について、町内には長堂川や宮平川もある。すべての河川整備で県と交渉を行ってほしいがどうか。

町長 整備され2、3年は良いが、その後は草が繁茂し1年越し2年越しに浚渫している。維持管理に膨大な金がかかる。一部分に魚の生息や

自然とのふれあい（親水）を設けてはどうだろうかと考えている。段差的なものを造ることによって一挙に流れていくようにするのはなく、溜池を造っていくことが現実的である。堆積を助長するような石を置くような方法はなじまないのでは、見直す必要もあると思う。全体については、地域の要望に応えていくよう要請したい。



草木が繁茂している国場川（兼城）

役場内に保育施設の設置を

問 役場庁舎内に保育施設を設置することで、職員が子どもを預けて安心して仕事ができる。役場庁舎内に設置してはどうか。

副町長 町全体の待機児童解消を含めた子育て支援の充実を最優先する。

問 保育士が産休・育休で休んだ場合、その園は保育士が不足している。事業所内保育所を町が運営することで、子どもを預けて保育士は園に戻るができる。保育士の確保のためそのような事業が必要ではないか。

民生部長 保育士が自分の子どもを事業所内の保育施設に預け、仕事に従事できると素晴らしい取り組みである。町内でも保育士に特化した事業所内保育等があれば、町も支援していきたい。